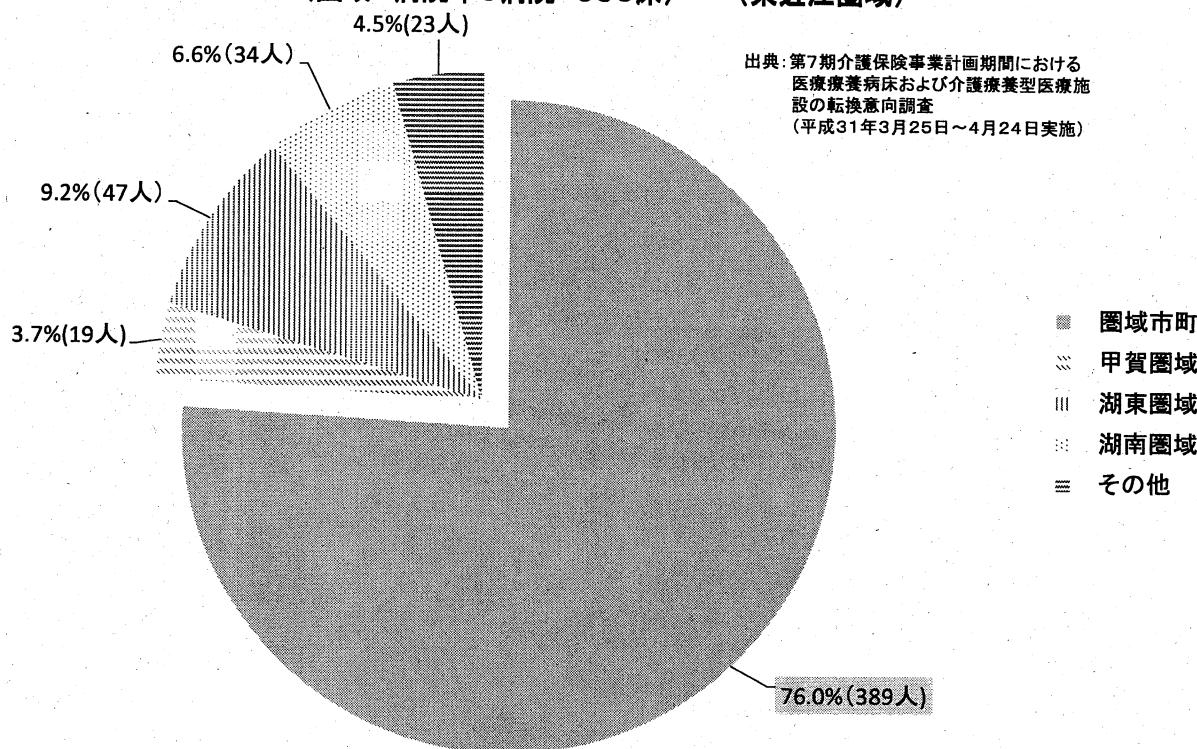


療養病床の実態調査について

医療療養病床の圏域別入院者の状況

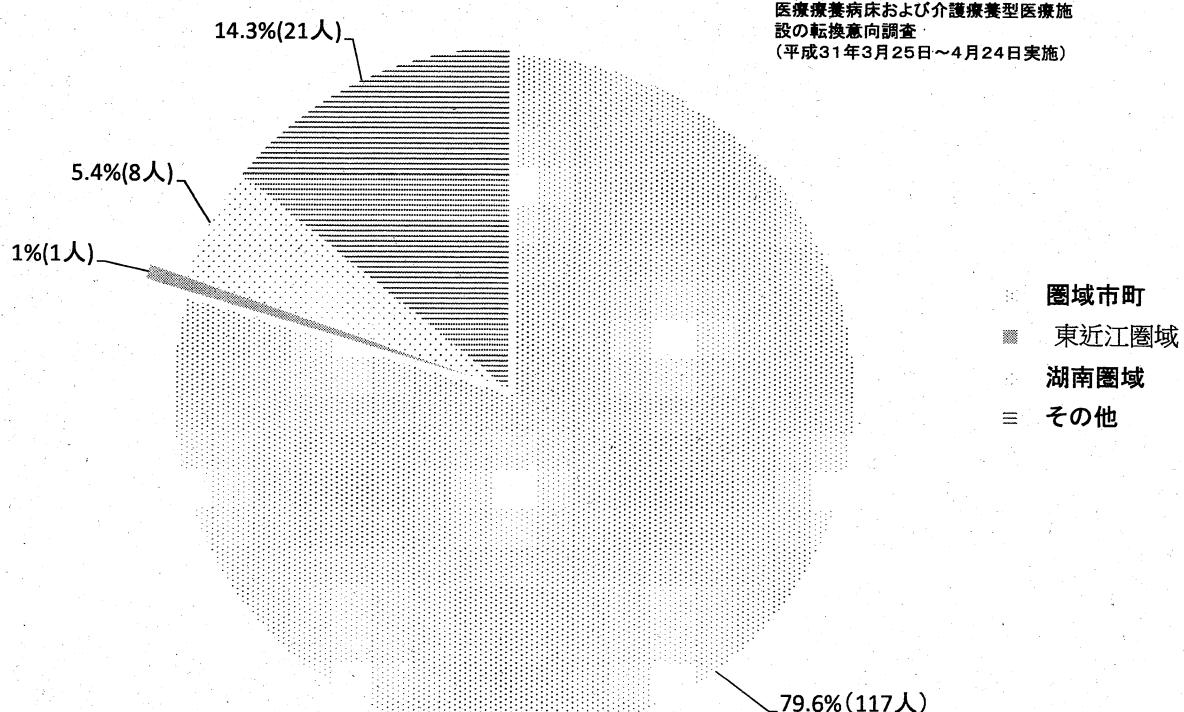
(圏域6病院中5病院 530床) (東近江圏域)



出典: 第7期介護保険事業計画期間における
医療療養病床および介護療養型医療施
設の転換意向調査
(平成31年3月25日～4月24日実施)

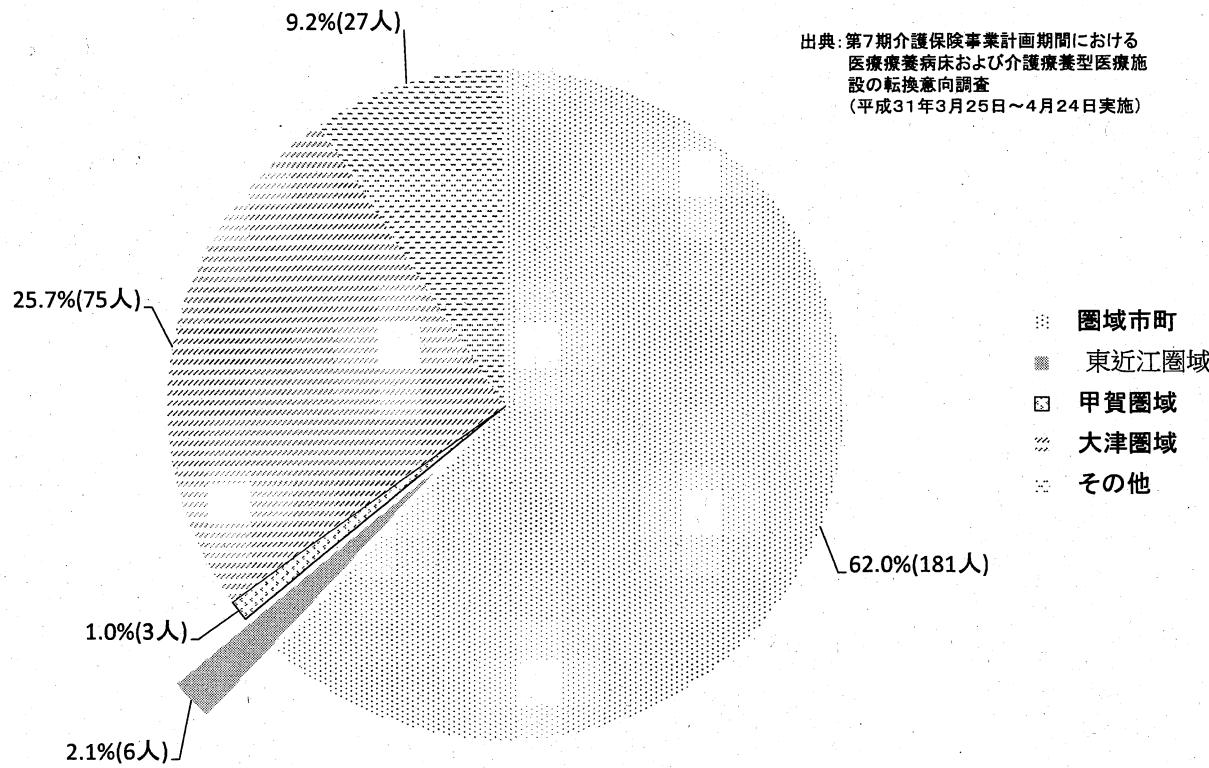
医療療養病床の圏域別入院者の状況

(圏域2病院 144床) (甲賀圏域)



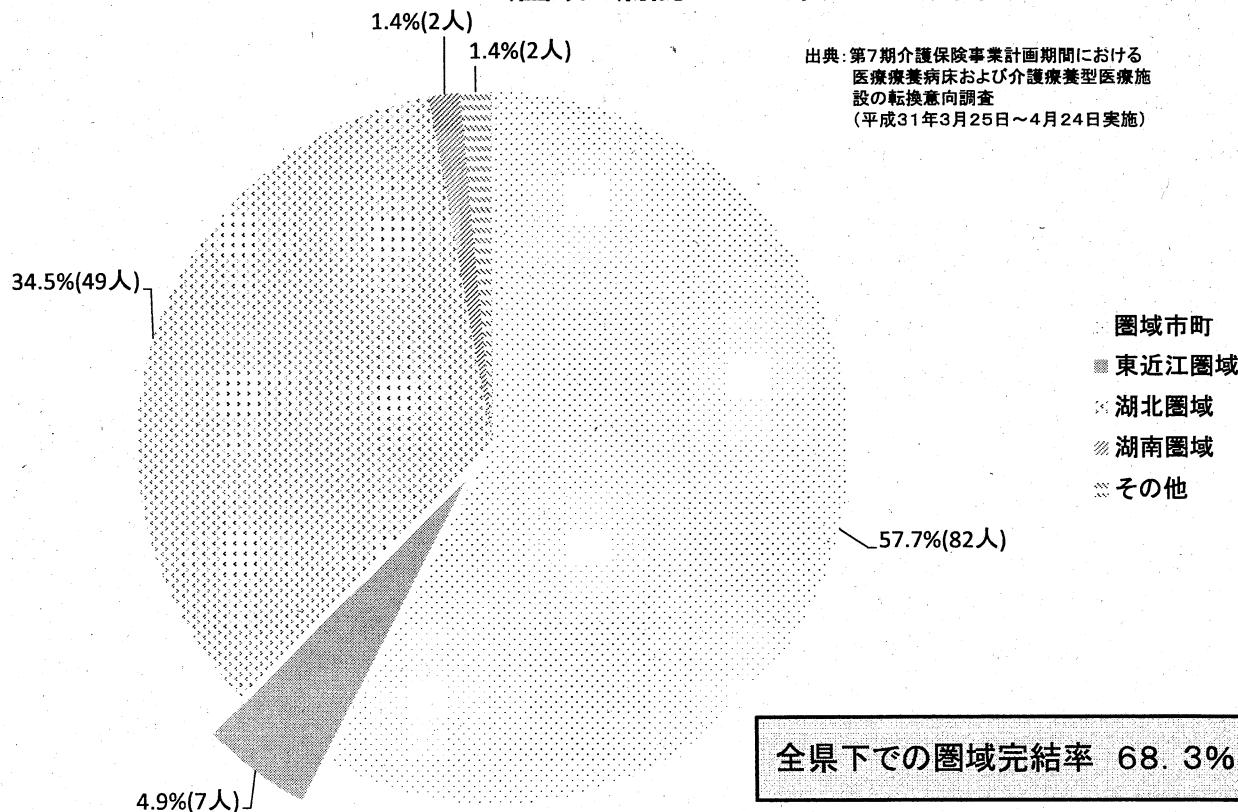
出典: 第7期介護保険事業計画期間における
医療療養病床および介護療養型医療施
設の転換意向調査
(平成31年3月25日～4月24日実施)

医療療養病床の圏域別入院者の状況 (圏域5病院 333床) (湖南圏域)

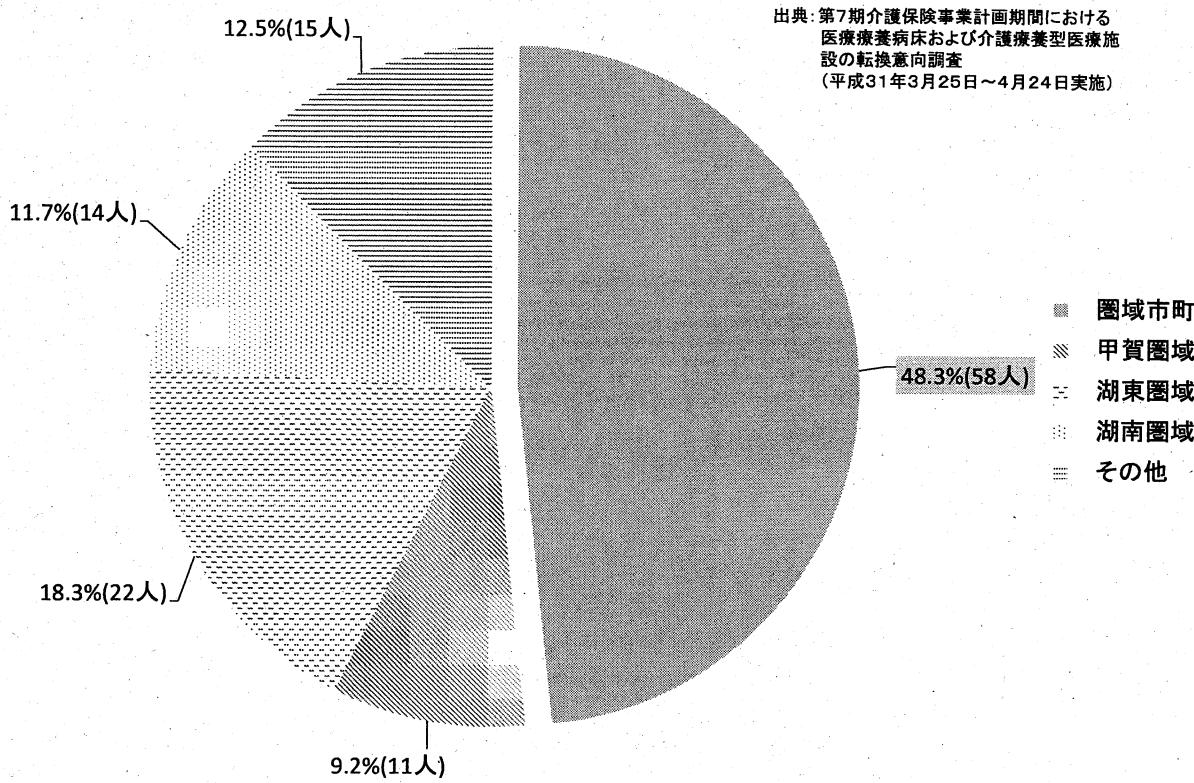


出典: 第7期介護保険事業計画期間における
医療療養病床および介護療養型医療施
設の転換意向調査
(平成31年3月25日～4月24日実施)

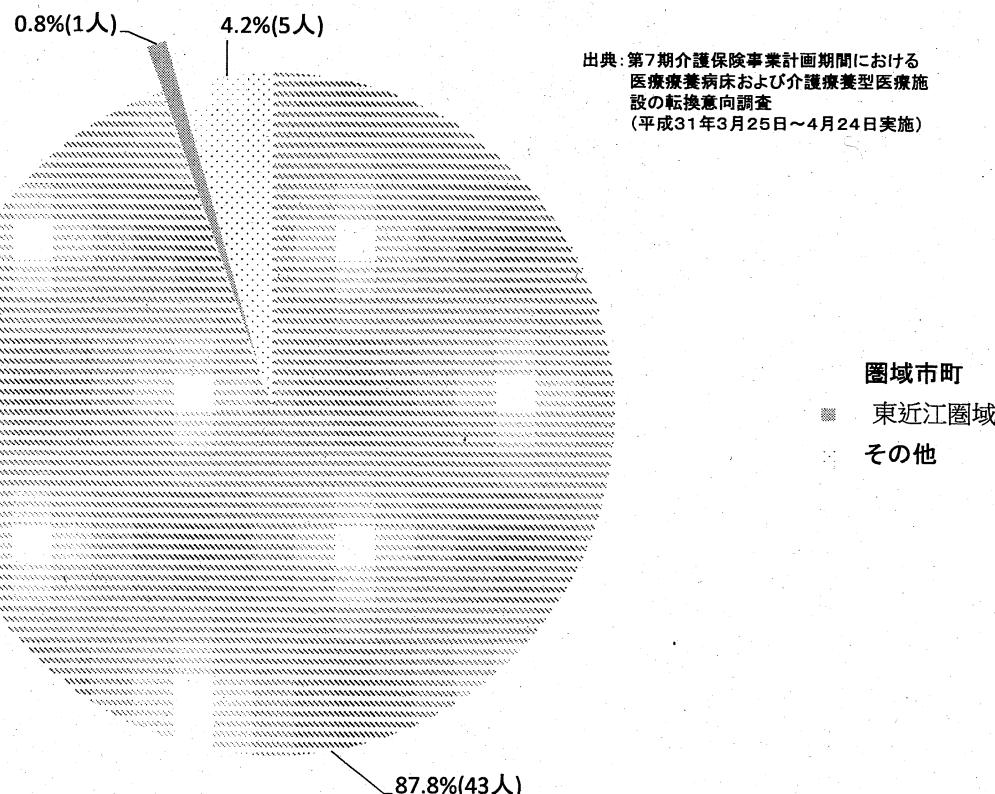
医療療養病床の圏域別入院者の状況 (圏域2病院 153床) (湖東圏域)



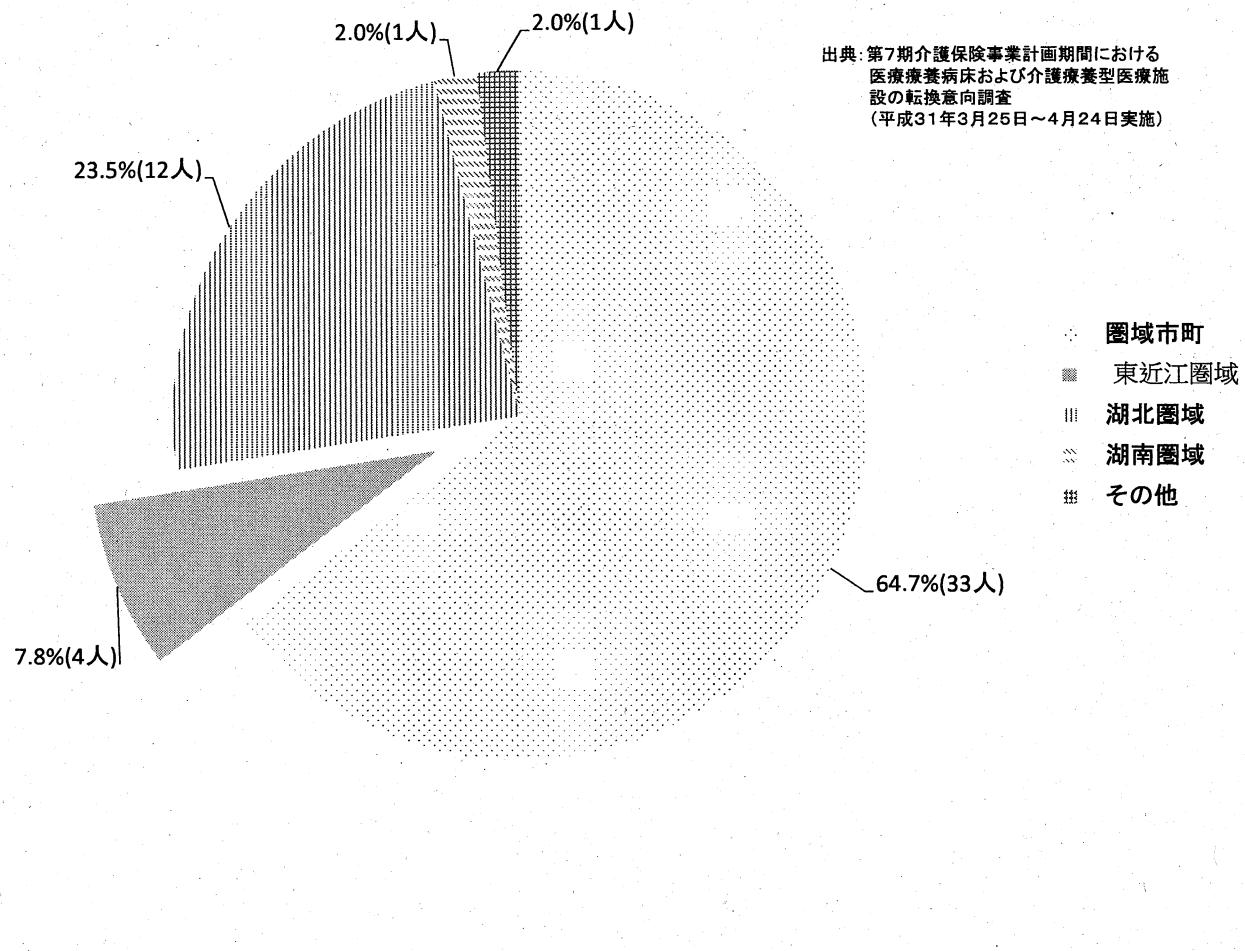
介護療養病床の圏域別入院者の状況 (圏域1病院 120床) (東近江圏域)



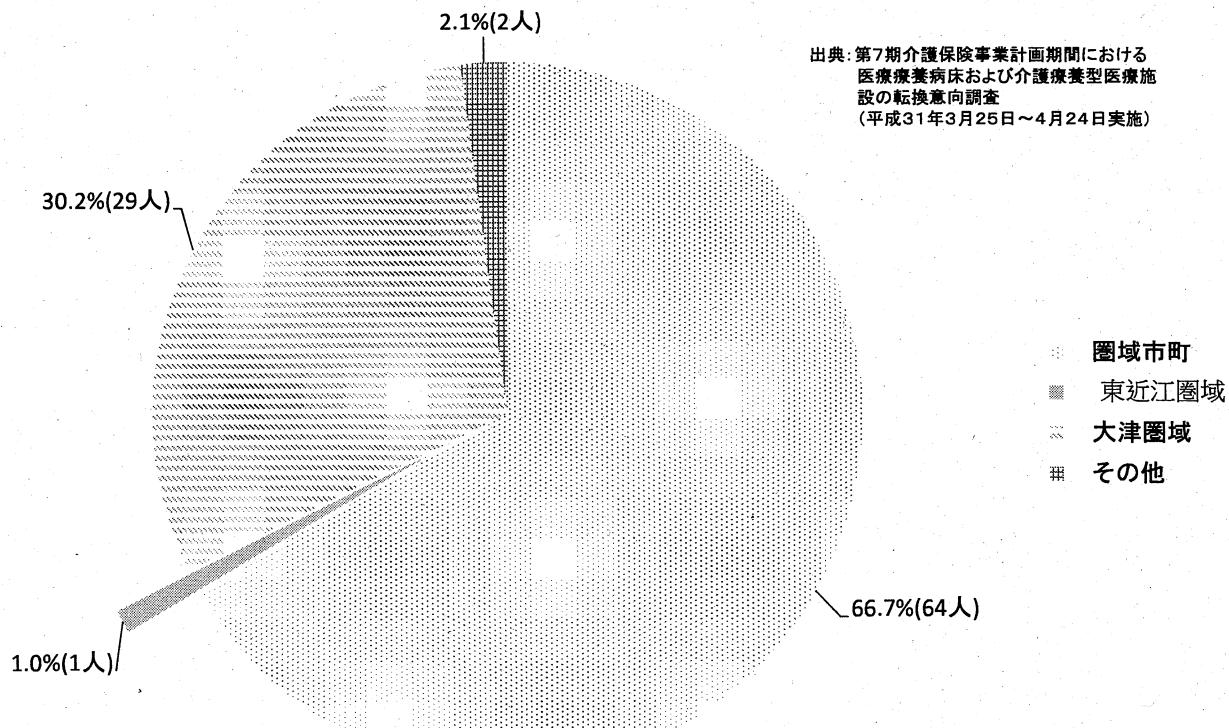
介護療養病床の圏域別入院者の状況 (圏域1病院 50床) (甲賀圏域)



介護療養病床の圏域別入院者の状況 (圏域1病院 60床) (湖東圏域)



介護療養病床の圏域別入院者の状況 (圏域1病院 100床) (湖南圏域)



全県下での圏域完結率 59.9%

療養型病床に関する調査について（案）

令和元年 7月 4日

○目的

病床機能報告において、高度急性期、急性期および回復期は他府県等の分析方法による一定の見方が示されているが、療養病床の分析については十分検討されていない。このため、今回は現状を把握し、今後の療養病床見直しの参考に資するものとする。

○実施時期

令和元年 8月 1 日午前 9時現在

○対象病床

療養病床のうち平成 30 年病床機能報告で現状「慢性期」と報告した病床で、6 病院 900 床が対象となる。

○方法

次の調査項目により選択式による電子データで行う。なお、個人の類推が可能なため電子メールにはパスワードを設定して報告する。

○報告期日と報告先

令和元年 8月 30 日（金）提出期限

eメール：ea32200@pref.shiga.lg.jp（滋賀県東近江保健所総務係）

（イーエー32200アットマークピーアールイーエフドットエスエイチアイジーエドットエルジードットジェーピー）

○調査項目

（1）性別

男性、女性

（2）年齢

20歳未満、20～30歳未満、30～40歳未満、40～50歳未満、50～60歳未満、60～64歳未満、65～74歳未満、75歳以上

（3）居住市町

近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町、彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町、甲賀市、湖南市、野洲市、栗東市、守山市、草津市、米原市、長浜市、その他（県内）、その他（県外）

(4) 入院期間

～1か月未満、1～6か月未満、6～1年未満、1～3年未満、3～5年未満、5年以上

(5) 入院前の場所

病院から、診療所から、介護老人保健施設から、特別養護老人ホームから、その他福祉関連施設などから、在宅から、その他(名称)

(6) 傷病名(主たるもの2疾患)

脳血管疾患、認知症、心不全、呼吸不全、精神疾患、骨折等筋骨格系疾患、糖尿病、腎不全、悪性腫瘍、廐用症候群、パーキンソン病等神経疾患、その他疾患

(7) 現在の状態

医療区分(I・II・III)、ADL区分(1・2・3)、要介護度(1・2・3・4・5)、認知症自立度(自立・I・II・III・IV・M・不明)

(8) 特別な医療(複数回答可)

経管栄養、カテーテル、喀痰吸引、胃瘻・腸瘻、点滴の管理、酸素療法褥そうの処置、モニターの測定、人工透析、その他

(9) 入院の継続理由

生命の危険がある、生命の危険はないが疾病による加療のため、条件が整えば退院可能、その他(理由)

(10) 今後の入院継続期間(見込み)

～1か月、1～3か月、3～6か月、6か月～1年、1年以上

(11) 本人の希望

入院の継続希望、転院希望、在宅への退院希望、福祉施設への退院希望、不明、その他(理由)

(12) 家族の希望

入院の継続希望、転院希望、在宅への退院希望、福祉施設への退院希望、不明、その他(理由)

(13)(9)で「条件が整えば退院可能」と回答した場合の理由

(施設)介護サービスの利用、家族が受入れる、傷病の安定、訪問診療の利用、経済的な理由、その他(理由)